

エコアクション21

環境経営レポート



2022年 3月竣工
休場ヶ谷山（256）復旧治山工事（明許）
発注者：四国森林管理局 嶺北森林管理署

発行2022年 5月 26日

有限会社 手箱建設

2021年版 環境経営レポート

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営活動への取組の全体概要
6. 環境経営目標
7. 環境経営活動計画
8. 環境経営目標の実績
9. 環境経営活動計画の取組結果とその評価
10. 次年度の取組内容
 - (1) 環境経営目標
 - (2) 環境経営活動計画
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
12. 代表者による全体評価と見直しの結果
13. その他の取組

発行日：2022年 5月 26日

発行責任者：環境管理責任者 井上 昭

次回発行予定：2022年11月頃

1. 組織の概要

【事業所名】 有限会社 手箱建設

【代表者氏名】 代表取締役 山本 周児

【所在地】

本社 高知県吾川郡いの町戸中 8 1 - 5

高知営業所 高知県高知市中水道 1 1 - 2

大森倉庫 高知県吾川郡いの町大森 9 1 - 9

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名		専務取締役	井上 昭
連絡先担当者		事務係	山中 ゆかり
連絡先	TEL:	0 8 8 - 8 6 9 - 2 3 1 1	
	FAX:	0 8 8 - 8 6 9 - 2 3 1 0	
	E-mail:	t.hamada@tebako.co.jp	

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業（主に土木工事を行っています。）

建設業許可

- ①許可番号 高知県知事（特-2）第676号
許可年月日 令和 3年 1月23日
建設業の種類 土木工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業
舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業
解体工事業
- ②許可番号 高知県知事（般-2）第676号
許可年月日 令和 3年 1月23日
建設業の種類 建築工事業、管工事業、造園工事業、さく井工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和42年 7月17日

資本金 2,000万円

	2019年度	2020年度	2021年度
製品生産量・出荷額（売上高） （万円）	51,993	57,786	94,864
従業員数 （名）	32	32	31
事業所敷地面積 （m ² ）	4,170	4,170	4,170
事業所延べ床面積 （m ² ）	676	676	676

従業員数は 4月 1日現在

会計年度 9月 ~ 8月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

有限会社 手箱建設

本社	高知県吾川郡いの町戸中 8 1 - 5	(常駐者： 1 名)
高知営業所	高知県高知市中水道 1 1 - 2	(常駐者： 2 名)
大森倉庫	高知県吾川郡いの町大森 9 1 - 9	(常駐者： 1 名)

対象事業： 土木工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業
ほ装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業
建築工事業、管工事業、造園工事業、さく井工事業
解体工事業

【レポートの対象期間】

2021年 4月～2022年 3月

【環境経営レポートの発行日】

2022年 5月 26日

【作成責任者】

環境管理責任者

井上 昭

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を		高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに		環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に		水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も		高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう		低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO ₂ 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO ₂ 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさも守ろう		緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

有限会社手箱建設は、高知県吾川郡いの町で土木関係の建設工事を行っています。
私たちは、世界の人々が笑って暮らしてゆける未来のために、CO₂吸収減である森・山を守り育て、常に『地球環境』を意識しながら継続的改善による環境経営を行っていきます。

【基本方針】

1. 建設工事におけるあらゆる場面において、景観・生物多様性に配慮し、地球にやさしい環境負荷の少ない工事（設計、施工）を行います。
2. トラック・重機・車輛の燃料使用量削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
3. 事務所・現場における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量を削減します。
4. 建設工事及び事務所における廃棄物発生量の削減、再利用及びリサイクルを行います。
5. 事務所における水使用量の削減により排水量を削減します。
6. 建設現場における化学物質排出について配慮します。
7. 事務用品及び調達資材のグリーン購入を推進します。
8. 環境関連法規及び条例等を遵守します。
9. ロードボランティア等、環境美化活動を積極的に行います。
10. 環境経営方針は広く従業員に周知徹底します。
11. 環境経営レポート等環境情報について広く外部公表いたします。

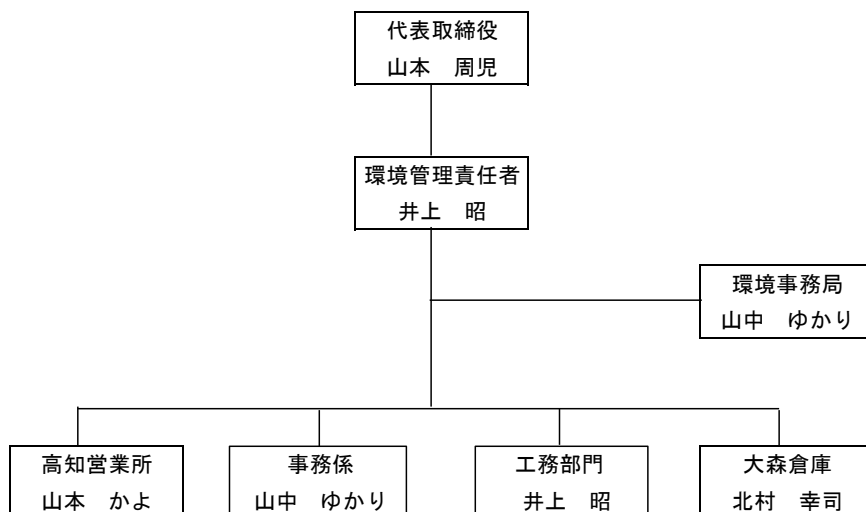
制定：2011年 8月10日

改定：2019年 7月20日

有限会社 手箱建設

代表取締役 山本 周児

4. 環境管理組織体制



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 ・代表者による全体評価と見直し実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 ・自部門に係る環境経営計画の実施、達成状況報告 ・自部門に係る緊急事態訓練の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

<全体概況>

- ガソリンの使用料が大幅に目標数値を超え、環境経営目標を達成することが出来ませんでした。
市内からの通勤者が増えたことや、通勤車両の増加が起因しています。通勤車両で古くなった車両を1台廃車とし新車に入れ替えました。
今後も適当な時期に新車に入れ替え、低排出ガス並びに燃費削減で環境負荷の軽減を計ります。
- 軽油使用量については環境経営目標に対して達成率が85%で、工事量と比較するとかなり抑えられ二酸化炭素排出量の大幅な削減が出来ました。
- 工事車両を2台入れ替えました。軽油使用量が15%から20%程度削減されています。
一般車両と同じく、古くて燃費が悪い建設車両は適当な時期に新車に入れ替えることにより環境負荷の軽減を計ります。
- 灯油使用料は昨年度に続き達成出来ませんでした。工事現場での養生の為に使用したことが増大した大きな要因です。ダム工事においてIPH工法による養生のために492Lを消費しました。特に冬季においては生コンクリートなどの養生には必要不可欠です。
事務所では2018年のエアコン新設により石油ストーブの使用頻度は激減し、灯油使用料はエアコン新設前の実績2,500L~3,200Lから新設後の実績600L~900Lと減少しています。
- 電力の使用量は、環境経営目標を大幅に超過しています。
2018年の10月に大型エアコンを2台新設し、この翌年から毎年30,000kWh/年を超えています。気候が影響するので大幅な削減は難しいですが、意識して温度設定や使用の抑制を行い、工夫しながら使用量の軽減を計り二酸化炭素排出量削減に努めます。
- 一般廃棄物、産業廃棄物ともに目標を達成出来ました。再資源化率は100%でした。
- 原単位目標に対しては全ての項目で目標を達成することが出来ました。
- 環境負荷の少ない工事への取組は施工計画の段階で的確に計画され、環境への配慮が行われています。
- 環境美化活動については、本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため地域清掃活動が中止となり実施出来ませんでした。ロードボランティア活動を12回実施しました。

<有限会社手箱建設の物質フロー> (2021年度)

<INPUT>

燃料 97,753 L

電力 32,195 kWh

用水 125m³

原材料 3034.2 t

有限会社手箱建設の事業活動



<OUTPUT>

CO₂ 265,152 kg - CO₂

排水 125m³

廃棄物 729 t

6. 環境経営目標

(1) 単年度目標 (2021年度)

期間： 2021年 4月 ～ 2022年 3月

項目	総量・原単位	単位	基準年	2021年度
			2018年度 2018.4-2019.3	目標 2021.4-2022.3
売上高		百万円	631	500
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	19,642	19,100
	原単位	(ℓ/百万円)	31.1	38.2
軽油使用量	総量	(ℓ)	89,324	88,700
	原単位	(ℓ/百万円)	141.6	177.4
灯油使用量	総量	(ℓ)	1,580	1,540
	原単位	(ℓ/百万円)	2.5	3.1
LPG使用量	総量	(kg)	43	40
	原単位	(kg/百万円)	0.07	0.08
電力使用量	総量	(kWh)	25,172	24,600
	原単位	(kWh/百万円)	39.9	49.2
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	294,386	289,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	466.5	578.0
用水使用量	総量	(m ³)	209	203
	原単位	(m ³ /百万円)	0.331	0.406
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	303	294
	原単位	(kg/百万円)	0.48	0.59
産業廃棄物排出量	総量	(t)	1,592	1,560
	原単位	(t/百万円)	2.5	3.12
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.0	99.0
グリーン購入	総量	(%)	48.0	70.0
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (158/158)	100 (全件)
環境美化活動	総量	(回)	11	11

- * 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(2021年度実績)
(令和3年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数(0.411kg-CO₂/kWh)を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、事務用品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 環境負荷の少ない工事
 - 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 濁水防止対策の実施

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2018年度 実績(基準年)	2021年度 目標	2022年度 目標	2023年度 目標
売上高		百万円	631	500	500	500
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	19,642	19,100	18,900	18,700
	原単位	(ℓ/百万円)	31.1	38.2	37.8	37.4
軽油使用量	総量	(ℓ)	89,323.8	88,700	88,500	88,300
	原単位	(ℓ/百万円)	141.6	177.4	177.0	176.6
灯油使用量	総量	(ℓ)	1,580.0	1,540	1,530	1,520
	原単位	(ℓ/百万円)	2.5	3.1	3.1	3.0
LPG使用量	総量	(kg)	43	40	39	38
	原単位	(kg/百万円)	0.07	0.08	0.08	0.08
電力使用量	総量	(kWh)	25,172	24,600	24,400	24,200
	原単位	(kWh/百万円)	39.9	49.2	48.8	48.4
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	294,386	289,000	287,000	285,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	466.5	578.0	574.0	570.0
用水使用量	総量	(m ³)	209	203	201	199
	原単位	(m ³ /百万円)	0.3	0.406	0.402	0.398
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	303	294	291	288
	原単位	(kg/百万円)	0.5	0.59	0.58	0.58
産業廃棄物排出量	総量	(t)	1,592	1,560	1,550	1,540
	原単位	(t/百万円)	2.5	3.12	3.10	3.08
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.0	99.0	99.0	99.0
グリーン購入	総量	(%)	48.0	70.0	70.0	70.0
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (158/158)	100 (全件)	100 (全件)	100 (全件)
環境美化活動	総量	(回)	11	11	11	11

7. 環境経営計画

(2021年度)

期間： 2021年 4月 ～ 2022年 3月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○重機、車両のアイドリングストップ	井上	2022年3月まで
		○車両の急発進・急停止・急加速の禁止	井上	2022年3月まで
		○燃費の良い車両の使用	井上	2022年3月まで
		○重機はフル運転しない。(エコモード運転)	井上	2022年3月まで
		○タイヤの空気圧チェック	井上	2022年3月まで
		○タイヤの磨耗チェック、交換	井上	2022年3月まで
		○エコタイヤの使用	井上	2022年3月まで
		○車のエアコンの使用の抑制 (夏場以外はエアコンの使用を極力抑制)	井上	2022年3月まで
		○できるだけ相乗りで行く	井上	2022年3月まで
		○車の利用はできるだけまとめて行う	井上・山中	2022年3月まで
		○近場へ行く時は、徒歩又は自転車を利用	井上・山中	2022年3月まで
		○最短経路の車の利用	井上・山中	2022年3月まで
		電力使用量 削減	○昼休み・帰宅時の消灯	山中
	○不要照明の消灯(人がいない場所の消灯)		山中	2022年3月まで
	○照明のLED化(場所：本社)		山中	2022年3月まで
	○残業時等は室内照明を最上限に留める		山中	2022年3月まで
	○不使用時のパソコンの電源OFF		山中	2022年3月まで
	○事務所内でクールビズ・ウォームビズの推進		山中	2022年3月まで
	・クールビズ			
	エアコン温度設定：28℃			
	服装：涼しい服装(現場に出る際に長袖着用)			
	・ウォームビズ		山中	2022年3月まで
	エアコン温度設定：20℃以下			
	服装：暖かい服装(上着の着用や膝掛けの使用)		山中	2022年3月まで
	○扇風機を使ってエアコンの空気を循環させる。			
	○エアコンは自動運転で運転し、風向きは夏は水平、冬は下向きに設定する。		山中	2022年3月まで
	○エアコンフィルターの定期的な清掃 冬場使用前に室外機周りの清掃	山中	2022年3月まで	
○夏場は気温の程度に応じてエアコン使用を控え扇風機を利用する。	山中	2022年3月まで		
○夏場のブラインド等使用による冷房負荷削減	山中	2022年3月まで		
用水使用量削減 (排水量削減)	○節水シール貼付による啓発	山中	2022年3月まで	
	○定期的な漏水チェック	山中	2022年3月まで	
	○工事に雨水、自然水(河川水等)利用	井上	2022年3月まで	
	○食器等のまとめ洗い	山中	2022年3月まで	
	○使用済みの残り水の利用(樹木への散水等)	山中	2022年3月まで	
	○車両の洗車に自然水(谷水等)利用	井上	2022年3月まで	

項目		活動内容	担当者	期間
廃棄物削減	一般廃棄物	○ゴミの分別徹底	山中	2022年3月まで
		○コピー用紙の裏紙使用	山中	2022年3月まで
		○両面コピー、縮小コピーの実施	山中	2020年3月まで
		○印刷前の文章チェック	山中	2022年3月まで
		○FAXは、必要なものだけ印刷する。	山中	2022年3月まで
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別徹底	井上	2022年3月まで
		○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。	井上	2022年3月まで
		○材料取りを効率的に行い、端材の発生量を抑制する。	井上	2022年3月まで 2022年3月まで
		○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理実施	井上	2022年3月まで 2022年3月まで
		○工事用図面は、印刷したものでなくパソコン等を利用し、紙の枚数削減	井上	2022年3月まで
グリーン購入	○エコマーク、グリーンマーク商品を選定して購入	山中	2022年3月まで	
	○詰め替え商品の購入	山中	2022年3月まで	
化学物資排出量削減	○化学物質とならない材料の選定	井上	2022年3月まで	
	○事前に使用量を確認し、無駄な使用はしない	井上	2022年3月まで	
	○化学物資使用量削減の為の工法検討実施	井上	2022年3月まで	
環境負荷の少ない工事	○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用	井上	2022年3月まで	
	○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	井上	2022年3月まで	
	○型枠、工事看板への間伐材の使用	井上	2022年3月まで	
	○濁水防止対策の実施	井上	2022年3月まで	
	○環境に配慮した施工や工法の検討	井上	2022年3月まで	
	○創意工夫の提案	井上	2022年3月まで	
環境美化活動	○ロードボランティアへの参加	井上	2022年3月まで	
	○地域の清掃活動に参加	井上	2022年3月まで	

8. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2018年度 2018.4-2019.3	2021年度 目標 2021.4-2022.3	2021年度 実績 2021.4-2022.3	実績値/目標値 (%)	評価
売上高		百万円	631	500	948		
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	19,642	19,100	22,309	117	×
	原単位	(ℓ/百万円)	31.1	38.2	23.5	62	○
軽油使用量	総量	(ℓ)	89,324	88,700	75,444	85	○
	原単位	(ℓ/百万円)	141.6	177.4	79.6	45	○
灯油使用量	総量	(ℓ)	1,580	1,540	2,186	142	×
	原単位	(ℓ/百万円)	2.5	3.1	2.3	75	○
LPG使用量	総量	(kg)	43	40	10	24	○
	原単位	(kg/百万円)	0.07	0.08	0.01	13	○
電力使用量	総量	(kWh)	25,172	24,600	32,195	131	×
	原単位	(kWh/百万円)	39.9	49.2	34.0	69	○
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	294,386	289,000	265,152	92	○
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	466.5	578.0	279.7	48	○
用水使用量	総量	(m ³)	209	203	125	62	○
	原単位	(m ³ /百万円)	0.33	0.41	0.13	32	○
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	303	294	289	98	○
	原単位	(kg/百万円)	0.48	0.59	0.30	52	○
産業廃棄物排出量	総量	(t)	1,592	1,560	729	47	○
	原単位	(t/百万円)	2.52	3.12	0.77	25	○
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.0	99.0	100.0	100	○
グリーン購入量	総量	(%)	48.0	70.0	50.9	73	×
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (158/158)	100 (全件)	100 (141/141)	100	○
環境美化活動	総量	(回)	11	11	12	100	○

* 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(2021年度実績)

(令和3年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数(0.411kg-CO₂/kWh)を使用した。

* 2. グリーン購入量は、事務用品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

* 3. 環境負荷の少ない工事

- 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 型枠、工事看板への間伐材の使用
- 濁水防止対策の実施

* 4. 評価は、「○」、「△」、「×」で評価する。

<環境経営目標未達成等理由>

ガソリン使用量:	2020年度の実績(22,276ℓ)とほぼ同じ実績となった。遠方からの通勤者が増え通勤車両を追加したこともあり、ガソリン使用量を削減することは出来なかった。
灯油使用量:	事務所の使用量は昨年並み、現場での使用が500ℓ増加している分が目標オーバーとなった。ダム工事でIPH工法による養生の為、492ℓの灯油を消費している。
電力使用量:	大きな比率で事務所のエアコンによる使用量である。厳冬ともなり得る地域ではあるが小まめな温度調整でエアコンのオンオフや温度調節を行い削減に努める。近年は熱中症予防の為、現場事務所にエアコンを1現場につき2台ほど設置することが多くなり電気使用量は増加している。 2021年12月に太陽光発電の設備を整備した。1月から3月の3ヶ月間で前年度同月分と比較し2,929kWh、49,740円の削減で効果が出ているが目標の達成には至っていない。
グリーン購入量:	事務器具や企業商品についてはグリーン対応の代替商品がないため選択肢が無いことが要因。今後も達成に向けて購入努力を続ける。

<過去の実績>

項目	総量・原単位	単位	2018年度 実績（基準年）	2016年度 実績	2017年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績
売上高		百万円	631	636	500	520	578
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	19,642	16,692	19,944	20,338	22,276
	原単位	(ℓ/百万円)	31.1	26.2	39.9	39.1	38.5
軽油使用量	総量	(ℓ)	89,324	98,121	105,354	60,410	81,314
	原単位	(ℓ/百万円)	141.6	154.3	210.7	116.2	140.7
灯油使用量	総量	(ℓ)	1,580	2,830	4,580	1,261	1,629
	原単位	(ℓ/百万円)	2.5	4.4	9.2	2.4	2.8
LPG使用量	総量	(kg)	43	44	75	28	36
	原単位	(kg/百万円)	0.07	0.07	0.15	0.05	0.06
電力使用量	総量	(kWh)	25,172.0	19,275.0	21,329.0	31,300.0	33,118.0
	原単位	(kWh/百万円)	39.9	30.3	42.7	60.2	57.3
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	294,386	311,424	343,087	219,064	279,151
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	466.5	489.7	686.2	421.3	483.0
用水使用量	総量	(m ³)	209	136	137	193	124
	原単位	(m ³ /百万円)	0.331	0.214	0.274	0.371	0.215
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	303	356	436	365	312
	原単位	(kg/百万円)	0.48	0.56	0.87	0.70	0.54
産業廃棄物排出量	総量	(t)	1,592	1,653	900	338	900
	原単位	(t/百万円)	2.52	2.60	1.80	0.65	1.56
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.0	98.2	99.8	100	99.3
グリーン購入	総量	(%)	48.0	68.0	68.0	67.3	65.9
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (158/158)	100 (131/131)	100 (113/113)	100 (147/147)	100 (170/170)
環境美化活動	総量	(回)	11	11	11	11	11

9. 環境経営計画の取組結果とその評価

(2021年度)

期間： 2021年 4月 ～ 2022年 3月

項目		活動内容	取組結果	評価	見直し
CO2 排出量削減	燃料使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○重機、車両のアイドリングストップ ○車両の急発進・急停止・急加速の禁止 ○燃費の良い車両の使用 ○重機はフル運転しない。(エコモード運転) ○タイヤの空気圧チェック ○タイヤの磨耗チェック、交換 ○エコタイヤの使用 ○車のエアコンの使用の抑制 (夏場以外はエアコンの使用を極力抑制) ○できるだけ相乗りで行く ○車の利用はできるだけまとめて行う ○近場へ行く時は、徒歩又は自転車を利用 ○最短経路の車の利用 	<p>各項目、取組が出来た。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各車両・重機の管理担当者による点検と車両等修理票による日々の維持が出来ており効果があった。 ・通勤車を増車した為ガソリン使用量の増加は当然であるが、ドライバーは常に省エネ運転を心掛けること。 	<p>見直しは無し</p>
	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○昼休み・帰宅時の消灯 ○不要照明の消灯(人がいない場所の消灯) ○照明のLED化(場所：本社) ○残業時等は室内照明を最小限に留める ○不使用時のパソコンの電源OFF ○事務所内でクールビズ・ウォームビズの推進 ・クールビズ エアコン温度設定：28℃ 服装：涼しい服装(現場に出る際に長袖着用) ・ウォームビズ エアコン温度設定：20℃以下 服装：暖かい服装(上着の着用や膝掛けの使用) ○扇風機を使ってエアコンの空気を循環させる。 ○エアコンは自動運転で運転し、風向きは夏は水平、冬は下向きに設定する。 ○エアコンフィルターの定期的な清掃 冬場使用の前に室外機周りの清掃 ○夏場は気温の程度に応じてエアコン使用を控え扇風機を利用する。 ○夏場のブラインド等使用による冷房負荷削減 	<p>習慣化され取組が出来た。</p> <p>今期は変更なし(現在変更箇所は70%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全般的に意識して取組が出来た。 ・2021年12月に太陽光発電の設備を導入したことにより従業員の省エネへの意識が向上した。 	<p>日々の習慣化で効果あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯は寿命がきたものを順次変更する。 <p>現状のまま継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全般的に意識して取り組んでいるが、まだまだ努力の余地はありと見られるので一層努めること。 ・太陽光発電の設備導入により自然エネルギーの利活用が可能となり省エネルギー対策と経費削減の効果が出ている。 1月から3月の3ヶ月間で前年度同月分と比較し2,929kWh、49,740円の差が削減で効果が出ている。 	<p>現状のまま継続</p>
<p>用水使用量削減 (排水量削減)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○節水シール貼付による啓発 ○定期的な漏水チェック ○工事に雨水、自然水(河川水等)利用 ○食器等のまとめ洗い ○使用済みの残り水の利用(樹木への散水等) ○車両の洗車に自然水(谷水等)利用 	<p>各項目、取組が出来た。</p>	<p>これまで通り取組による成果が出ており一定の使用量を推移している。</p>	<p>必要無し</p>	

項目	活動内容	取組結果	評価	見直し	
廃棄物削減	一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○ゴミの分別徹底 ○コピー用紙の裏紙使用 ○両面コピー、縮小コピーの実施 ○印刷前の文章チェック ○FAXは、必要なものだけ印刷する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分別徹底が行われ紙の再利用や再資源化に取り組み、目標を達成することが出来た。 ・裏紙の再利用が活用されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成することは出来たが、コピーミスを無く為に、日頃から印刷前のチェックを習慣化しよう。 ・ミスした場合も廃棄せず裏紙利用のボックスに入れ再利用を心掛けること。 	変更はなし。削減に向けてより一層努めること
	産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○産業廃棄物の分別徹底 ○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。 ○材料取りを効率的に行い、端材の発生量を抑制する。 ○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理実施 ○工事用図面は、印刷したものでなくパソコン等を利用し、紙の枚数削減 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正に処理され、取組が出来た。 ・排出量は工種により数量が左右され、今年度は道路改良工事が多く排出量が多かったが、処理会社の適正な選別が出来ており100%再資源化出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施工担当者が施工段階より考慮し、効果的に実施出来た。 	必要無し。現状維持に努める。
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> ○エコマーク、グリーンマーク商品を選定して購入 ○詰め替え商品の購入 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン商品など選択肢のあるものは積極的に検討し購入しているが、通常購入している事務用品の中での金額割合は約50%程度に止まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・精選し購入できている。 ・選択肢が無い場合は仕方ないが目標は継続していく 	必要無し	
化学物質排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○化学物質としない材料の選定 ○事前に使用量を確認し、無駄な使用はしない ○化学物質使用量削減の為に工法検討実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・着手時の使用材料の検討で取組が行えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・効果が見られる。 	必要無し	
環境負荷の少ない工事	<ul style="list-style-type: none"> ○低騒音、排出ガス対策型機械の使用 ○環境負荷の少ない材料（リサイクル材）の使用 ○使用機械の整備を行い、長く設備を使用する ○省エネ活動による燃料等使用量削減 ○環境に配慮した施工や工法の検討 ○創意工夫の提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・施工担当者が施工段階より検討・計画が出来てお効果的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低燃料機種様の仕様や省エネ活動により効果が出ている。 ・各担当が考慮して計画実施でき効果的に行えた。 	変更なし。再資源化率100%を目指す。	
環境美化活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ロードボランティアへの参加 ○地域清掃活動への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に実施出来た。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため地域清掃は中止となり実績なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に実行出来ている。 	必要なし	

具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減



社用車の更新

2022年1月に通勤車1台を、4月には工事車両を1台、新車に入れ替えました。燃料使用量は15%から20%程度の削減となっております。



重機の更新

2021年7、8月に重機2台を更新しました。燃料使用量は大幅な削減となっております。



急発進・急加速・急停止の禁止

2011年9月に社用車内に「急発進・急加速・急停止の禁止」のシールを貼付、燃料使用量削減の啓発を行っています。



重機のエコモード運転の徹底

2011年9月に全ての重機に「エコモード運転の徹底」のシールを貼付、燃料使用量削減の啓発を行っています。



車の相乗りの徹底

工事現場へ行く時は必ず相乗りで現地に行き、社用車の燃料使用量削減に努めています。

(2) 電力使用量削減



本社事務所1階 LED照明設置

(2012年 5月設置)

本社事務所1階部分の照明(34本)を蛍光灯からLEDに更新しました。



昼休みの消灯

本社事務所の照明を昼休み(12時~13時)消灯し、節電に努めています。



本社事務所屋上 太陽光パネル設置(太陽光発電(13.80kW)導入)

(2021年 10月設置)

本社事務所屋上部分(地上2階3階部分)に太陽光パネルを設置し、自家発電を行い事務所の電気使用量を相殺しています。

2. 用水使用量の削減



節水シール貼付

(2011年9月設置)

本社事務所内の水道蛇口(3ヶ所)に節水シールを貼付け、啓発を計っています。

3. 廃棄物の削減

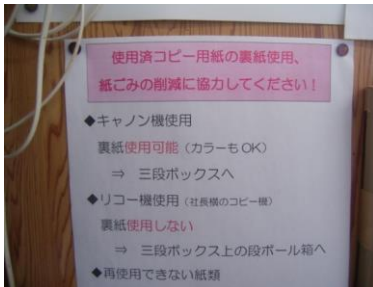
(1) 一般廃棄物の削減



不要紙ごみの分別の徹底

(分別箱：2011年月設置)

本社事務所内紙ごみの分別箱を設置し、不要紙の再利用を行っています。



コピー用紙の裏紙使用、両面コピー

ミスコピー用紙は裏紙として使用し、また両面コピーを実施することによりコピー用紙の使用量を削減しています。

(2) 産業廃棄物



産業廃棄物分別の徹底

(分別置場：2011年 9月設置)

産業廃棄物は有価物と廃棄物に分別し、産業廃棄物再資源化率が向上するように工事現場で努力しています。

4. グリーン購入



事務用品のエコマーク・グリーンマーク商品の優先購入

事務用品はエコマーク・グリーンマークの付いた商品を優先的に購入しています。詰め替え商品を積極的に使用しています。

対象商品：コピー用紙、ファイル類、ノート類
ボールペン、シャープペン、洗剤等

5. 環境負荷の少ない工事



低騒音、排出ガス対策型重機の使用

工事名称：休場ヶ谷山(256)復旧治山工事（明許）

工事期間：2021年9月3日～2022年3月18日

工事場所：高知県吾川郡いの町休場ヶ谷山

低騒音・排出ガス対策型重機を使用しました。

工事箇所周辺の騒音低減と、排出ガス量削減に努めています。



工事看板への高知県産間伐材の使用

工事名称：森林基幹道開設事業越裏門大森線1工区工事
(道交基幹 第90号)

工事期間：2020年8月26日～2021年11月11日

工事場所：高知県吾川郡いの町大森

工事看板には高知県産間伐材を使用し、環境負荷低減に努めました。



環境に配慮した工事の施工

工事名称：森林基幹道開設事業越裏門大森線1工区工事
(道交基幹 第90号)

工事期間：2020年8月26日～2021年11月11日

工事場所：高知県吾川郡いの町大森

アスファルト乳剤散布時、飛散防止の為ベニヤ板を設置して散布しました。



水質汚濁及び環境汚染対策の実施

工事名称：県道石鎚公園線防災・安全交付金工事
(道交地防安(1.5車)第103-014-2号)

工事期間：2021年2月11日～2021年9月28日

工事場所：高知県吾川郡いの町越裏門

生コン打設ホースの洗浄水を土納袋にて濾過し、濾過後の洗浄水を排出基準値までアルカリ中和剤で中和した上で土に排出することで汚染対策を行いました。

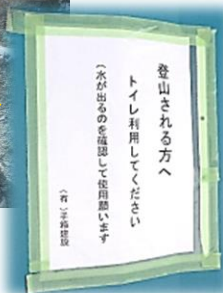


工事名称：令和2年度 林道長沢川口線地すべり災害復旧工事
(2本産工第54号)

工事期間：2020年11月7日～2022年3月22日

工事場所：高知県吾川郡いの町戸中

排水ボーリング工事において、削孔で排出された土砂を土納袋を通すことで工事現場に汚泥を排出しないよう配慮して工事を行いました。



森林保護・環境衛生対策の実施

工事名称：令和2年度 町道一の谷寒風線寒風山橋橋梁架替工事（杭基礎）
（3道メ工第366号）

工事期間：2021年10月14日 ～2022年5月31日

工事場所：高知県吾川郡いの町桑瀬

道路冬季閉鎖で山岳観光者向けの公衆トイレが閉鎖された為、当該工事で公衆トイレ近隣に設置している簡易トイレを一般観光者向けに利用開放し、周辺の森林保護や環境衛生に配慮しました。



IPH工法による工事施工

工事名称：令和3年度 長沢小登校道階段維持修繕工事
（3い教本工第10号）

工事期間：2021年8月6日 ～2021年9月30日

工事場所：高知県吾川郡いの町長沢

擁壁のひび割れ修繕をIPH工法で施工することにより、コンクリート構造物を砕かない為、産業廃棄物の排出を抑制出来ました。構造物の長寿命化が可能となることで環境負荷が少なくなります。

6. 環境美化活動



ロードボランティア活動

国道104号線のロードボランティア活動を行い、道路の清掃活動を行いました。

（今年度12回実施）

10. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

(1) 単年度目標 (2022年度)

期間： 2022年 4月 ~ 2023年 3月

項目	総量・原単位	単位	基準年 2018年度 2018.4-2019.3	2022年度 目標 2022.4-2023.3
売上高		百万円	631	500
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	19,642	20,000
	原単位	(ℓ/百万円)	31.1	40.0
軽油使用量	総量	(ℓ)	89,324	88,500
	原単位	(ℓ/百万円)	141.6	177.0
灯油使用量	総量	(ℓ)	1,580	1,530
	原単位	(ℓ/百万円)	2.5	3.1
LPG使用量	総量	(kg)	43	39
	原単位	(kg/百万円)	0.1	0.1
電力使用量	総量	(kWh)	25,172	30,000
	原単位	(kWh/百万円)	39.9	60.0
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	294,386	287,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	466.5	574.0
用水使用量	総量	(m ³)	209	201
	原単位	(m ³ /百万円)	0.3	0.4
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	303	291
	原単位	(kg/百万円)	0.5	0.6
産業廃棄物排出量	総量	(t)	1,592	1,550
	原単位	(t/百万円)	3	3
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.0	99.0
グリーン購入	総量	(%)	48.0	70.0
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (158/158)	100 (全件)
環境美化活動	総量	(回)	11	11

* 1. 電力のCO₂ 発生量については、電気事業者別のCO₂ 排出係数(2021年度実績)
(令和3年1月7日公表)の四国電力の調整後排出係数(0.411kg-CO₂/kWh)を使用した。

* 2. グリーン購入量は、事務用品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

* 3. 環境負荷の少ない工事 (例)

○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用

○低騒音、排出ガス対策型重機の使用

○型枠、工事看板への間伐材の使用

○濁水防止対策の実施

○環境に配慮した施工や工法の検討

* 4. ガソリン使用量と電気使用量の目標を変更した。(変更箇所を太字で記載)

【理由】

ガソリン使用量・・・近年遠方から勤務の従業員が増え通勤距離が延長したことや、通勤車両を増車したことなどにより近年ガソリン使用量が增大しているため。

電気使用量・・・2018年10月より大型エアコンを2台新設し、翌年より使用量が增大した。エアコンが無い時点での目標とでは実績に大きな乖離があるため。

同時に灯油の目標値を下げるのが適当であるが、事務所のストーブによる使用量は激減したものの、冬場の現場でのコンクリート養生等の使用量が実績に大きく影響している状況であるため今は現状維持とする。

② 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2018年度 実績（基準年）	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
売上高		百万円	631	500	500	500
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	19,642	20,000	19,800	19,600
	原単位	(ℓ/百万円)	31.1	40.0	39.6	39.2
軽油使用量	総量	(ℓ)	89,324	88,500	88,300	88,100
	原単位	(ℓ/百万円)	141.6	177.0	176.6	176.2
灯油使用量	総量	(ℓ)	1,580	1,530	1,520	1,510
	原単位	(ℓ/百万円)	2.5	3.1	3.0	3.0
LPG使用量	総量	(kg)	43	39	38	37
	原単位	(kg/百万円)	0.07	0.08	0.08	0.07
電力使用量	総量	(kWh)	25,172	30,000	29,800	29,600
	原単位	(kWh/百万円)	39.9	60.0	59.6	59.2
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	294,386	287,000	285,000	283,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	466.5	574.0	570.0	566.0
用水使用量	総量	(m ³)	209	201	199	197
	原単位	(m ³ /百万円)	0.33	0.40	0.40	0.39
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	303	291	288	285
	原単位	(kg/百万円)	0.48	0.58	0.58	0.57
産業廃棄物排出量	総量	(t)	1,592	1,550	1,540	1,530
	原単位	(t/百万円)	2.52	3.10	3.08	3.06
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	99.0	99.0	99.0	99.0
グリーン購入	総量	(%)	48.0	70.0	70.0	70.0
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (158/158)	100 (全件)	100 (全件)	100 (全件)
環境美化活動	総量	(回)	11	11	11	11

(2) 環境経営計画 (2022年度)

期間： 2022年 4月 ~ 2023年 3月

項目	活動内容	担当者	期間		
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○重機、車両のアイドリングストップ	井上	2023年3月まで	
		○車両の急発進・急停止・急加速の禁止	井上	2023年3月まで	
		○燃費の良い車両の使用	井上	2023年3月まで	
		○重機はフル運転しない。(エコモード運転)	井上	2023年3月まで	
		○タイヤの空気圧チェック	井上	2023年3月まで	
		○タイヤの磨耗チェック、交換	井上	2023年3月まで	
		○エコタイヤの使用	井上	2023年3月まで	
		○車のエアコンの使用の抑制 (夏場以外はエアコンの使用を極力抑制)	井上	2023年3月まで	
		○できるだけ相乗りで行く	井上	2023年3月まで	
		○車の利用はできるだけまとめて行う	井上・山中	2023年3月まで	
		○近場へ行く時は、徒歩又は自転車を利用	井上・山中	2023年3月まで	
		○最短経路の車の利用	井上・山中	2023年3月まで	
		電力使用量 削減	○昼休み・帰宅時の消灯	山中	2023年3月まで
	○不要照明の消灯(人がいない場所の消灯)		山中	2023年3月まで	
	○照明のLED化(場所:本社)		山中	2023年3月まで	
	○残業時等は室内照明を最上限に留める		山中	2023年3月まで	
	○不使用時のパソコンの電源OFF		山中	2023年3月まで	
	○事務所でクールビズ・ウォームビズの推進		山中	2023年3月まで	
	・クールビズ				
	エアコン温度設定: 28℃				
	服装: 涼しい服装(現場に出る際に長袖着用)				
	・ウォームビズ		山中	2023年3月まで	
	エアコン温度設定: 20℃以下				
	服装: 暖かい服装(上着の着用や膝掛けの使用)		山中	2023年3月まで	
	○扇風機を使ってエアコンの空気を循環させる。				
	○エアコンは自動運転で運転し、風向きは夏は水平、冬は下向きに設定する。				
	○エアコンフィルターの定期的な清掃 冬場使用の前に室外機周りの清掃				
○夏場は気温の程度に応じてエアコン使用を 控え扇風機を利用する。					
○夏場のブラインド等使用による冷房負荷削減					
用水使用量削減 (排水量削減)	○節水シール貼付による啓発	山中			2023年3月まで
	○定期的な漏水チェック	山中			2023年3月まで
	○工事に雨水、自然水(河川水等)利用	井上	2023年3月まで		
	○食器等のまとめ洗い	山中	2023年3月まで		
	○使用済みの残り水の利用(樹木への散水等)	山中	2023年3月まで		
	○車両の洗車に自然水(谷水等)利用	井上	2023年3月まで		

項目		活動内容	担当者	期間
廃棄物削減	一般廃棄物	○ゴミの分別徹底	山中	2023年3月まで
		○コピー用紙の裏紙使用	山中	2023年3月まで
		○両面コピー、縮小コピーの実施	山中	2023年3月まで
		○印刷前の文章チェック	山中	2023年3月まで
		○FAXは、必要なものだけ印刷する。	山中	2023年3月まで
	産業廃棄物	○産業廃棄物の分別徹底	井上	2023年3月まで
		○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。	井上	2023年3月まで
		○材料取りを効率的に行い、端材の発生量を抑制する。	井上	2023年3月まで
		○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理実施	井上	2023年3月まで
		○工事用図面は、印刷したものでなくパソコン等を利用し、紙の枚数削減	井上	2023年3月まで
グリーン購入	○エコマーク、グリーンマーク商品を選定して購入	山中	2023年3月まで	
	○詰め替え商品の購入	山中	2023年3月まで	
化学物資排出量削減	○化学物質とならない材料の選定	井上	2023年3月まで	
	○事前に使用量を確認し、無駄な使用はしない	井上	2023年3月まで	
	○化学物資使用量削減の為の工法検討実施	井上	2023年3月まで	
環境負荷の少ない工事	○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用	井上	2023年3月まで	
	○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	井上	2023年3月まで	
	○型枠、工事看板への間伐材の使用	井上	2023年3月まで	
	○濁水防止対策の実施	井上	2023年3月まで	
	○環境に配慮した施工や工法の検討	井上	2023年3月まで	
	○創意工夫の提案	井上	2023年3月まで	
	○IPH工法の推進	南	2023年3月まで	
環境美化活動	○ロードボランティアへの参加	井上	2023年3月まで	
	○地域の清掃活動に参加	井上	2023年3月まで	

11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
	第7条の13項	○一般廃棄物収集運搬基準に従った収集運搬表示、書面備付義務	必要時	工事担当者	遵守	2022/3/31
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	工事担当者	遵守	2022/3/31
	第12条の10、11項	多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	工事担当者	遵守	2022/3/31
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	工事担当者	遵守	2022/3/31
	第12条の三7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
	第14条	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可（5年毎に更新）	期限切れ 3ヶ月前	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
	第14条の一12項 規則第8条	産業廃棄物処理基準による収集運搬 ○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	工事担当者	遵守	2022/3/31
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時 必要時	工事担当者 工事担当者	遵守 遵守	2022/3/31 2022/3/31
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m ² 以上 新築・増築：床面積500m ² 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時 7日前までに	環境管理責任者 工事担当者	遵守 遵守	2022/3/31 2022/3/31
騒音規制法	第5条	○騒音規制基準の遵守	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
	第14条	○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	工事担当者	遵守	2022/3/31
振動規制法	第5条 第14条	○振動規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	環境管理責任者 工事担当者	遵守 遵守	2022/3/31 2022/3/31
大気汚染防止法 （解体工事）	第18条の15	○解体等工事受注者は、石綿使用の有無（全ての石綿含有建材）について事前に調査し、発注者へ調査結果を書面で説明する。	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
	第18条の17	○特定粉じん作業開始の14日前までに都道府県知事に届出 解体工事：床面積80m ² 以上 建築物改造：請負代金100万円以上	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
	第18条の20	○特定工事の元請業者若しくは下請業者は特定粉じん排出作業において作業基準を遵守	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
大気汚染防止法 （解体工事）	第18条の22	○元請業者は下請に対する粉じん排出作業を適切に行うよう指導	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
	第18条の23	○特定粉じん作業完了後、結果の遅滞なく発注者に書面で報告することと記録の作成保管	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
労働安全衛生法 （解体工事）	第88条	○解体工事の工事計画書を労働基準監督署長宛に提出（着工14日前までに）	必要時	環境管理責任者 工事担当者	遵守	2022/3/31
	石綿則第5条	○建築物解体等作業届を労働基準監督署長宛に提出（作業前）	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
消防法	第8条	○防火管理者の選任、消防計画の作成 (遅滞なく所轄消防長又は消防署長に届出)	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長 への許可 第1石油類 ガソリン: 200ℓ 第2石油類 灯油、軽油: 1,000ℓ 第3石油類 重油: 2,000ℓ 第4石油類 潤滑油: 6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	工事担当者	遵守	2022/3/31
	第17条の 3の2	○消防用設備等設置届書の消防署への提出	着工10日前	工事担当者	遵守	2022/3/31
フロン類の使用の合理化及び 管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第19条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO2-t/年以上、事業所所管大臣への報告	年1回	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
	第5条	○定期点検の実施 エアコン: 3.7kW以上50kW未満 冷蔵機器、冷凍機: 3.7kW以上	1回/3年 1回/年	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
		○エアコンの簡易点検	1回/3ヶ月	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
浄化槽法	第5条	○浄化槽の設置届	着工21日前	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
	第10条	○年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施	年1回	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
	第11条	○年1回の水質検査実施	年1回	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
下水道法	第10条	○下水道に下水を流入させる為の排水管、 排水暗渠等の設置	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
水質汚濁防止法	第14条の四	○事業者の責務 公共用水域又は地下水の水質汚濁防止の ための必要な措置の実施	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
特定化学物質の環境への排出量 の把握等及び管理の改善の促進 に関する法律	第5条	○化学物質の排出量、使用量の把握	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31

環境関連法規等の取りまとめ表
(条例)

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者 工事担当者	遵守	2022/3/31
高知市火災予防条例	第31条	○少量危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	工事担当者	遵守	2022/3/31
南国市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
	第28条	○事業者の地球環境保全への取組		環境管理責任者	遵守	2022/3/31
南国市火災予防条例	第31条	○少量危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	工事担当者	遵守	2022/3/31
香南市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
香南市火災予防条例	第31条	○少量危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	工事担当者	遵守	2022/3/31
香美市火災予防条例	第31条	○少量危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	工事担当者	遵守	2022/3/31
安芸市火災予防条例	第31条	○少量危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	工事担当者	遵守	2022/3/31
四万十町環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
四万十市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 環境負荷の低減、その他環境保全	必要時	環境管理責任者	遵守	2022/3/31
四万十市四万十川の保全及び 振興に関する基本条例	第7条	○景観保全に関する届出 ・土石の採取 ・盛土、切土による土地の形状変更 ・屋外において土石、廃棄物、再生資源、 再生部品の蓄積、貯蔵する行為 ・天然林を伐採し、スギ・ヒノキの植樹 ・看板、広告板、ソーチライト照明等の設置	必要時	工事担当者	遵守	2022/3/31
幡多西部消防組合火災予防条例	第31条	○少量危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の 危険物貯蔵)	必要時	工事担当者	遵守	2022/3/31
仁淀消防組合火災予防条例	第46条	○少量危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量未満の危険物等の貯蔵又は取り扱い)	必要時	工事担当者	遵守	2022/3/31

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

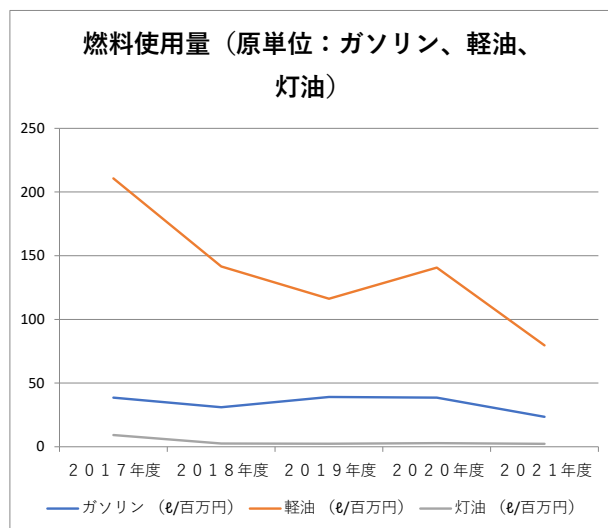
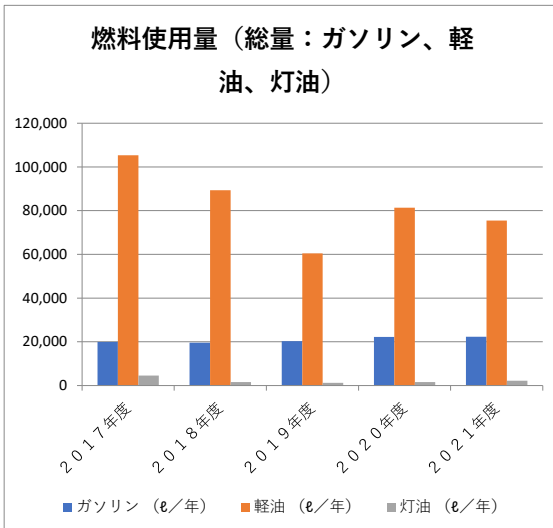
2021年4月より2022年3月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	灯油 (ℓ／年)
2017年度	19,944	105,354	4,580
2018年度	19,642	89,324	1,580
2019年度	20,338	60,410	1,261
2020年度	22,276	81,314	1,629
2021年度	22,309	75,444	2,186

燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン (ℓ／百万円)	軽油 (ℓ／百万円)	灯油 (ℓ／百万円)
2017年度	39	211	9.2
2018年度	31	142	2.5
2019年度	39	116	2.4
2020年度	39	141	2.8
2021年度	24	80	2.3

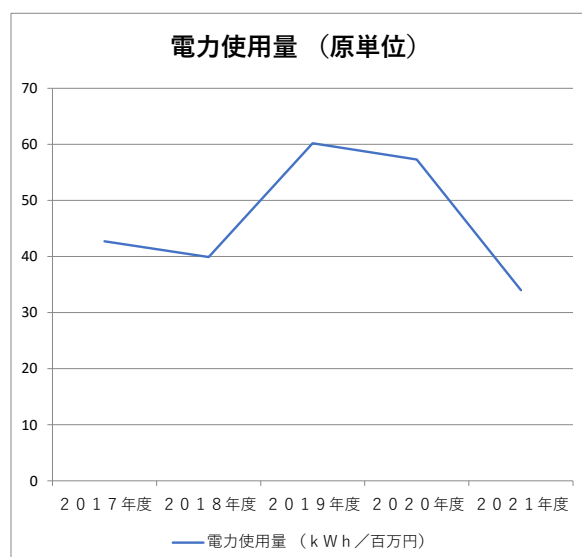
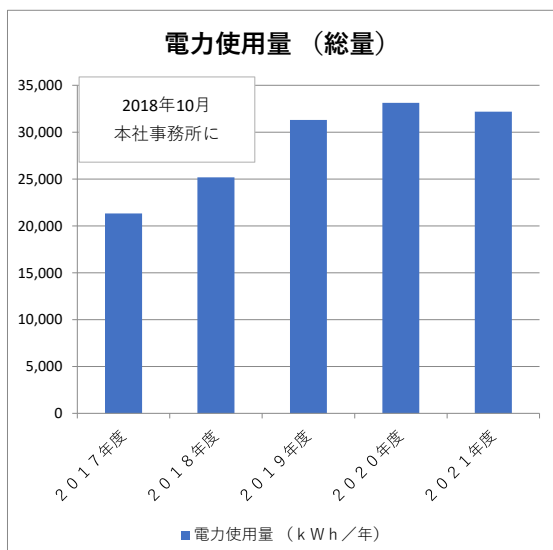


電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
2017年度	21,329
2018年度	25,172
2019年度	31,300
2020年度	33,118
2021年度	32,195

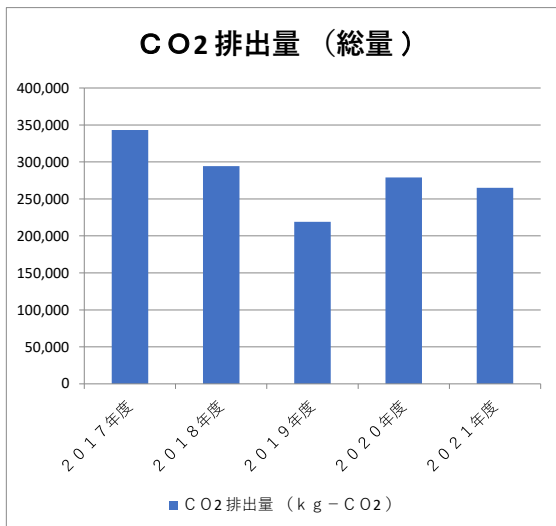
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量 (kWh／百万円)
2017年度	43
2018年度	40
2019年度	60
2020年度	57
2021年度	34



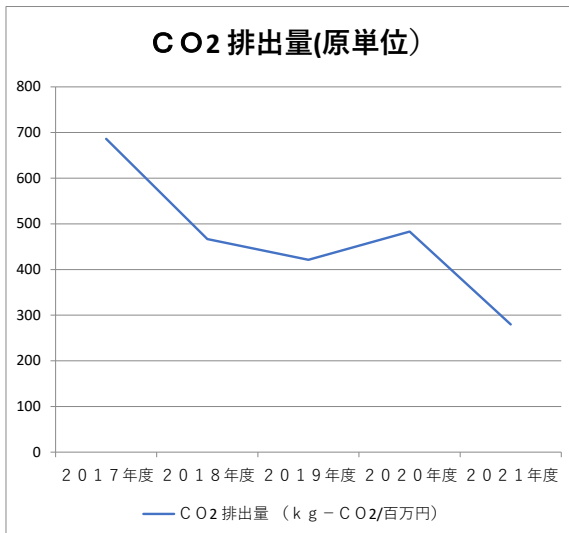
CO₂ 排出量 (総量 : (kg-CO₂))

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
2017年度	343,087
2018年度	294,386
2019年度	219,064
2020年度	279,151
2021年度	265,152



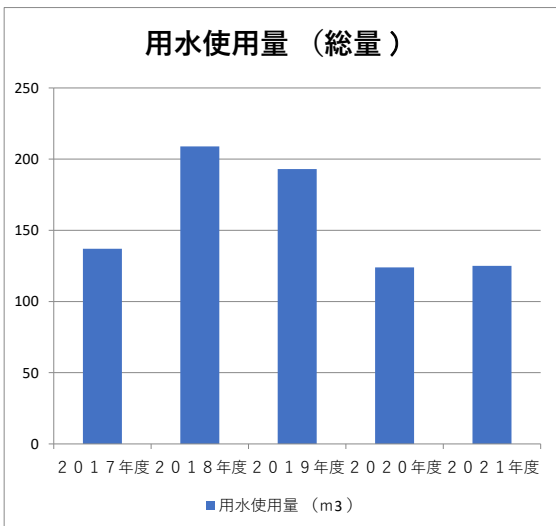
CO₂ 排出量 (原単位 : kg-CO₂/百万円)

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /百万円)
2017年度	686
2018年度	467
2019年度	421
2020年度	483
2021年度	280



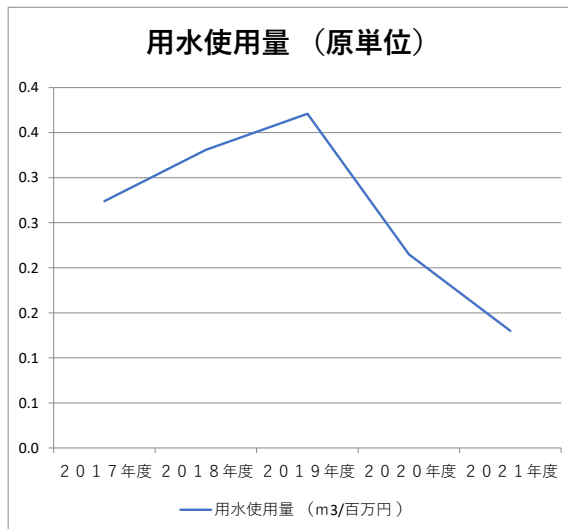
用水使用量(総量 : m³)

年度	用水使用量 (m ³)
2017年度	137
2018年度	209
2019年度	193
2020年度	124
2021年度	125



用水使用量(原単位 : m³/百万円)

年度	用水使用量 (m ³ /百万円)
2017年度	0.3
2018年度	0.3
2019年度	0.4
2020年度	0.2
2021年度	0.1



廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)

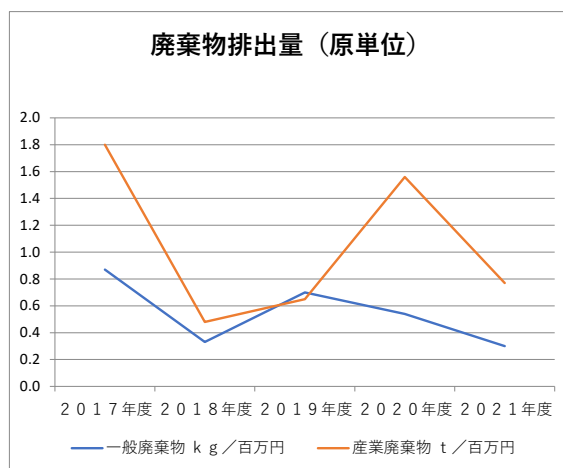
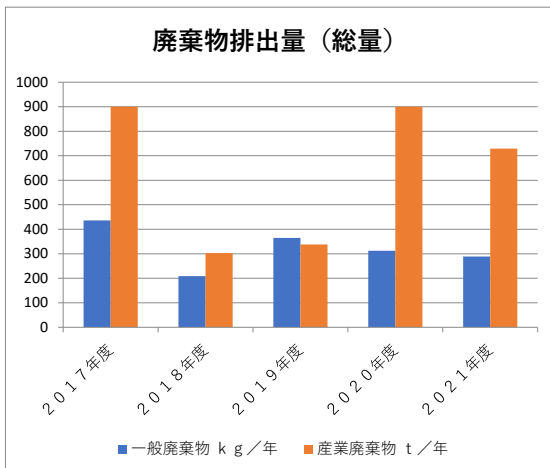
単位:一般廃棄物 kg/年
単位:産業廃棄物 t/年

年度	一般廃棄物 kg/年	産業廃棄物 t/年
2017年度	436	900
2018年度	209	303
2019年度	365	338
2020年度	312	900
2021年度	289	729

廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)

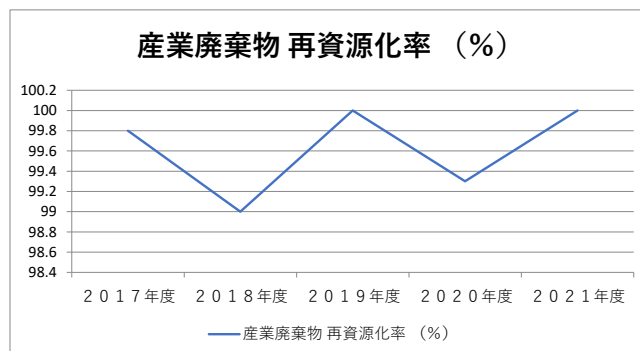
単位:一般廃棄物 kg/百万円
単位:産業廃棄物 t/百万円

年度	一般廃棄物 kg/百万円	産業廃棄物 t/百万円
2017年度	0.9	1.8
2018年度	0.3	0.5
2019年度	0.7	0.7
2020年度	0.5	1.6
2021年度	0.3	0.8



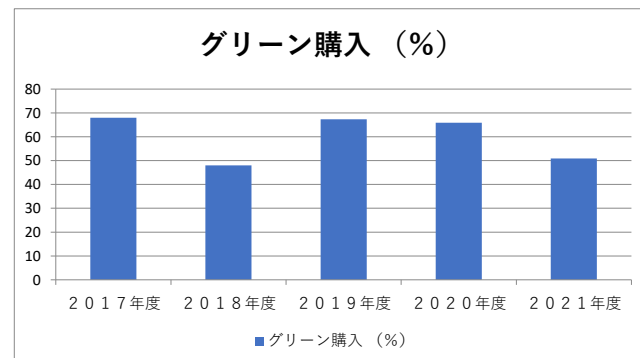
産業廃棄物再資源化率 (%)

年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
2017年度	99.8
2018年度	99
2019年度	100
2020年度	99.3
2021年度	100



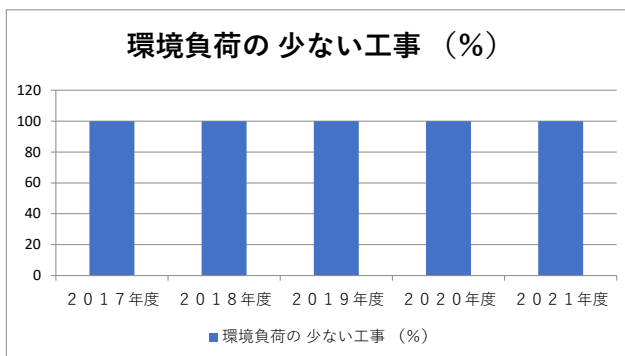
グリーン購入 (%)

年度	グリーン購入 (%)
2017年度	68
2018年度	48
2019年度	67.3
2020年度	65.9
2021年度	50.9



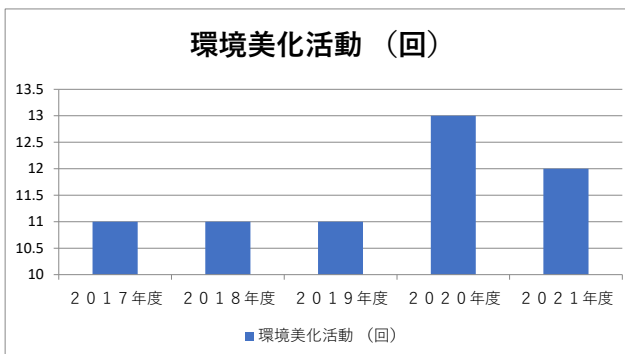
環境負荷の少ない工事(%)

年度	環境負荷の少ない工事 (%)
2017年度	100
2018年度	100
2019年度	100
2020年度	100
2021年度	100



環境美化活動(回)

年度	環境美化活動 (回)
2017年度	11
2018年度	11
2019年度	11
2020年度	13
2021年度	12



12. 代表者による全体評価と見直しの結果

■定期見直し
□臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し																																																									
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項																																																									
<p>【取組状況の評価結果】</p> <p>①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規への違反はなし</p> <p>②問題点の是正処置及び予防処置の状況 発生なし</p> <p>③前回までの代表者の指示事項への対応</p> <ol style="list-style-type: none"> 新機種・機械の導入については2台導入、排出ガスの抑制や軽油使用量が削減などの効果が出ている。 電気使用量の削減に向けて経営計画の見直しを行いました。大きな成果は得られていない。引き続き計画の担当者が小まめな温度調整でエアコンのオンオフや温度調節に努める。 <p><改善提案> 特になし</p>				<p>【環境経営方針】</p> <p>変更の必要性： <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>事業内容の大幅な変化は無いので方針の変更は必要無し。今後は持続可能な開発目標（SDGs）も取り入れながらの経営方針も必要なかもしれない。検討する。</p>																																																									
<p>【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値 達成状況</th> <th>経営計画 達成状況</th> <th>コメント (目標値、活動計画に対するコメント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガソリン使用量削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>ガソリン車の増車による。</td> </tr> <tr> <td>軽油使用料削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>達成出来た。使用料目標対比85%</td> </tr> <tr> <td>灯油使用料削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>冬季工事の養生使用で増大した。</td> </tr> <tr> <td>LPG使用量削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>今後も継続する。</td> </tr> <tr> <td>電気使用量削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>エアコンの使用料が高んだ。</td> </tr> <tr> <td>CO₂排出量削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>軽油消費量が抑えられたため。</td> </tr> <tr> <td>用水使用量削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>今後も継続する。</td> </tr> <tr> <td>一般廃棄物排出量削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>削減により一層努めること。</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物排出量削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>達成出来た。排出量目標対比47%</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物資源化率</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>計画活動により再生資源化100%達成</td> </tr> <tr> <td>グリーン購入量</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>グリーン対象品が選択肢に無いため。</td> </tr> <tr> <td>環境負荷の少ない工事</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>施工計画時に把握され配慮が行われている。</td> </tr> <tr> <td>環境美化活動</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>道路清掃が計画通り行われた。</td> </tr> </tbody> </table> <p><改善提案> ガソリン使用量の実績は前年度とほぼ同じ。電気使用量は本年を含め過去3年間30,000kWh/年を超過している。このことから2022年度から目標数値を見直ししているが、今後も目標数値や活動計画は進捗状況を見て定期的に観察し実態に応じて改善していく。</p>				目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	ガソリン使用量削減	×	○	ガソリン車の増車による。	軽油使用料削減	○	○	達成出来た。使用料目標対比85%	灯油使用料削減	×	○	冬季工事の養生使用で増大した。	LPG使用量削減	○	○	今後も継続する。	電気使用量削減	×	○	エアコンの使用料が高んだ。	CO ₂ 排出量削減	○	○	軽油消費量が抑えられたため。	用水使用量削減	○	○	今後も継続する。	一般廃棄物排出量削減	○	○	削減により一層努めること。	産業廃棄物排出量削減	○	○	達成出来た。排出量目標対比47%	産業廃棄物資源化率	○	○	計画活動により再生資源化100%達成	グリーン購入量	×	○	グリーン対象品が選択肢に無いため。	環境負荷の少ない工事	○	○	施工計画時に把握され配慮が行われている。	環境美化活動	○	○	道路清掃が計画通り行われた。	<p>【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】</p> <p>変更の必要性： <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>昨年同様の項目で目標を達成出来ていないが、前年の工事高と比較して今年は1.6倍の工事高となっている。その中で軽油使用量や産業廃棄物排出量、CO₂排出量などの削減に努め目標を達成出来たことは高く評価出来る。</p> <p>2018年度10月にエアコン2台を新設し、その翌年から電気使用量が毎年30,000kWh/年を超過している。その分それまで主だった石油ストーブの灯油使用料は激減していることから、2022年度から電気使用量の目標値の見直しを行っている。また今年度は太陽光発電の新規取組で削減効果が見られていることから、その実績を月次で確認していく。</p>	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)																																																										
ガソリン使用量削減	×	○	ガソリン車の増車による。																																																										
軽油使用料削減	○	○	達成出来た。使用料目標対比85%																																																										
灯油使用料削減	×	○	冬季工事の養生使用で増大した。																																																										
LPG使用量削減	○	○	今後も継続する。																																																										
電気使用量削減	×	○	エアコンの使用料が高んだ。																																																										
CO ₂ 排出量削減	○	○	軽油消費量が抑えられたため。																																																										
用水使用量削減	○	○	今後も継続する。																																																										
一般廃棄物排出量削減	○	○	削減により一層努めること。																																																										
産業廃棄物排出量削減	○	○	達成出来た。排出量目標対比47%																																																										
産業廃棄物資源化率	○	○	計画活動により再生資源化100%達成																																																										
グリーン購入量	×	○	グリーン対象品が選択肢に無いため。																																																										
環境負荷の少ない工事	○	○	施工計画時に把握され配慮が行われている。																																																										
環境美化活動	○	○	道路清掃が計画通り行われた。																																																										
<p><改善提案> 特になし</p>				<p>【その他】</p> <p>変更の必要性： <input type="checkbox"/>有 <input checked="" type="checkbox"/>無</p> <p>特になし</p>																																																									
<p>【周囲の変化の状況】</p> <p>①外部コミュニケーション記録より 苦情なし</p> <p>②環境関連法規制等の動向他 特になし</p> <p><改善提案> 特になし</p>				<p>【総括】</p> <p>機械・車両の新規入れ替えて排出ガスの抑制や軽油使用量が削減され環境負荷の低減が計れている。今後も新規機械・車両導入には環境に配慮した機種を選定することでCO₂排出量削減に努める。</p> <p>新しい取り組みとして太陽光発電設備の新設があるが、CO₂排出量及び経費削減の効果が出ており今後に期待が持てる。</p> <p>毎年の工事高の変動により目標達成の困難さは見えるが、従業員の努力が見えており数値的に悪いとは思っていない。</p> <p>目標を達成出来ていない項目もあるが、環境への取組は有効に継続されていると評価し、エコアクション21は有効に機能していると判断する。今後も活動状況を把握しながら見直し改善を行い、環境マネジメント活動を有効に継続していくこと。</p>																																																									
<p>代表者が自ら得た情報</p> <p>特になし</p>																																																													

13. その他の取組

1. 自然保護団体への支援

支援団体	支援内容	支援年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2019年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2020年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2021年
公益社団法人 高知県森と緑の会	「緑の募金」へ寄付（毎年継続して行っています。）	2021年



CO₂削減量 10t

※2022年も支援を継続予定です。

2. 環境イベント支援

支援イベント名	実施年月
「社会貢献の森」における森林整備等の活動	2021年6月



千ヶ谷森づくり事業に従業員が参加し
森の下草刈りを行いました。

千ヶ谷森づくり事業
(2021年 6月実施)